

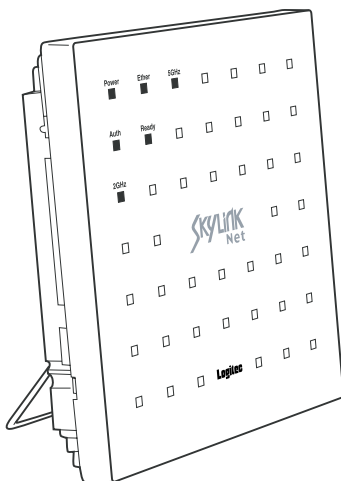
Wireless LAN Access Point

無線LANアクセスポイント・ ユーザーズマニュアル

LWN-A54APS/ACB

IEEE 802.11a 54Mbps

IEEE 802.11b 11Mbps



Logitech

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本アクセスポイントおよび本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本アクセスポイントの仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本アクセスポイントを使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本アクセスポイントの仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本アクセスポイントは、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本アクセスポイントを使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本アクセスポイントは日本国内仕様ですので、本アクセスポイントを日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。Acrobat®Reader®は米国アドビシステム社の米国または、その各国での商標または登録商標です。

- ・本製品はOpenSSL Toolkitを使用するためにOpenSSL Projectにより 開発されたソフトウェアを含みます。(http://www.openssl.org/)
- ・本製品はEric Young(eay@cryptsoft.com) によって書かれた 暗号ソフトウェアを含んでいます。
- ・本製品はApache Software Foundation(http://www.apache.org/)により 開発されたソフトウェアを含みます。
- ・本製品はAtheros 社製の無線 LAN チップセットを使用しています。

目次

ご使用の前に	2
ロジックソフトウェア使用権許諾契約書	2
取扱い上のご注意	4
電波に関する注意事項	6
付属品の確認	7
製品の概要	8
設定方法	10
設定の前に - 基本的な機能について -	10
設定の手順	14
1. ユーティリティのインストール	14
2. アクセスポイントの設定	23
お取り扱いについて	28
各部の名称と機能	28
使用環境	33
設置方法	34
無線クライアントの参加方法	36
スマート認証モードでの通信	37
指紋認証 (BIO) モードでの通信	38
複合通信を行う場合	40
手動設定による通信	42
通信時のポイント	43
補足事項	44
表示ランプの機能	44
本アクセスポイントで設定可能な機能	46
出荷時設定	47
シリアル接続で設定する場合	48
コンピュータ名の設定	51
その他	52
トラブルシューティング	53
付録：用語に関する補足説明	59
オプション品について	60
ハードウェア仕様	62
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	64

ご使用の前に

ご使用の前に必ずお読みください。

ロジックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本アクセスポイント添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジック株式会社 テクニカルサポート

1．使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2．著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3．規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りです。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りです。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5．免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえばかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6．その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

本アクセスポイントを正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かにご注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電にご注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

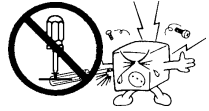




警告

分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプタは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



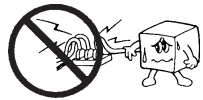
ACアダプタを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



注意

ACアダプタのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



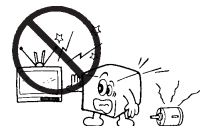
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



⚠ 電波に関する注意事項

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を受けています。従って本製品を使用する際に、無線局の免許は必要ありません。ただし、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

共通

- ・本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用しないで下さい。
- ・本製品は特定無線設備として技術基準適合証明を受けているため、以下の行為を行うと法律により処罰される場合があります。
 - ・本製品を分解、改造した場合。
 - ・本製品の裏面に貼ってあるラベルまたはmini-PCIに貼ってあるラベルをはがした場合。

IEEE 802.11a 使用時

- ・本製品がIEEE 802.11a規格の通信時に使用する5.2GHz帯の電波は地球探査衛星等の通信システムが使用しています。これらの通信システムとの電波干渉を避けるため、**屋外での使用は厳禁となっております。**これに違反した場合法律により処罰される場合がありますのでご注意ください。

IEEE 802.11b 使用時

- ・本アクセスポイントがIEEE 802.11b規格の通信時に使用する2.4GHz帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・電子レンジなどの加熱装置
 - ・工場の製造ライン等で使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）
 - 特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

心臓ペースメーカを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に本アクセスポイントを使用しないで下さい。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。

電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないで下さい。電波干渉が発生します。

本アクセスポイントをご使用の前に本アクセスポイントの周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本アクセスポイントからそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、直ちに本アクセスポイントの使用周波数を変更して電波干渉を回避してください。

その他、本アクセスポイントから移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

使用周波数帯域	2.4GHz (IEEE 802.11b)、5.2GHz (IEEE 802.11a)
変調方式	DS-SS 方式 (IEEE 802.11b)、OFDM 方式 (IEEE 802.11a)
想定干渉距離	40m 以下 (IEEE 802.11b)
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能。(IEEE 802.11b) 全帯域を使用可能 (屋内のみ : 802.11a)

注：想定干渉距離とは、構内無線局または特定省電力無線局との電波干渉が想定される距離です。（通信可能距離とは異なる場合があります。）

本書で使用する用語について

- ・ 本書内でアクセスポイントと表現しているものは特に指定のない限り、本製品（LWN-A54APS）のことを指します。
- ・ 説明文中に特定の用語に対し（用語）と追記してあるものは、「付録：用語に関する補足説明」で概要を説明しています。

付属品の確認

本アクセスポイントご使用前に以下の付属品が同梱されていることをご確認ください。

無線LANアクセスポイント	1 台
無線LANカード「LWN-A54CBS」	1 枚
ACアダプタ	1 台
壁掛け用ネジ	2 本
壁掛け設定用台紙	1 枚
CD-ROM	1 枚
ユーザーズマニュアル	本書
保証書・ユーザー登録カード	1 枚

本アクセスポイントは精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

製品の概要

本製品は IEEE802.11a および 802.11b に対応した無線 LAN アクセスポイントです。製品には以下のような特徴があります。

IEEE 802.11a/IEEE 802.11b に対応

公称最大 54Mbps の高速通信を実現し電波干渉の少ない IEEE802.11a と、現在広く使用されている IEEE 802.11b の両規格に対応しています。

高度なセキュリティ機能

スマート認証（用語）と LDLS 認証（Logitec Datalink Layer Security）（用語）を行ってセキュアなネットワークが構築可能です。

スマート認証とはクライアントカードをアクセスポイントにセットして行う認証のことです。

スマート認証モードでは、アクセスポイントに弊社製無線 LAN カード（LWN-A54CBS）をセットして、取り外すだけで、そのカードをセットしたクライアントとアクセスポイントの通信が可能となりますので、クライアント側で面倒な設定は必要ありません。

具体的には、アクセスポイントに無線 LAN カードをセットしたときに、アクセスポイントから無線 LAN カードへ、通信設定情報、公開鍵の発行をし、カードの MAC アドレスをアクセスポイントに自動登録します。情報の受け渡しを行った無線 LAN カードをクライアントパソコンにセットすると、交換した情報を元に認証と通信を行います。通信開始時には LDLS（Logitec Datalink Layer Security）認証によるユーザ確認を行い、通信時はユーザーごとに異なる暗号キーを使用します。LDLS 認証とは、通信開始時にデータリンク層において公開鍵暗号方式でアクセスポイントとクライアント間の相互認証を行い、その後セッションキー（暗号キー）を生成し、そのキーを AP-クライアント間で共有して通信を行う弊社独自の認証方式です。

また、ユーザーごとに異なる暗号キーを配布します。暗号キーは AES（用語）を使用します（注）。AES は、秘密鍵ブロック処理暗号方式を採用し、解読が困難なため、ネットワークへの侵入や不正アクセスを防ぎます。

注：手動設定時は AES 128bit、WEP152bit、128bit、64bit から選択

WEB ブラウザから簡単に設定（注1）

アクセスポイントの設定は SSL プロトコルによるセキュアな通信方式で WEB ブラウザを使用して行います。基本設定メニューで必要な情報を登録したら、その後はモードごとに設定メニューを選択できます。

PoE（パワーオーバーイーサネット）による電源供給が可能

LAN ケーブル経由で電源供給が可能です。壁掛けにした場合など、近くに電源（AC100V）が無い時、802.3af 準拠の給電機能を備えた機器を上流に配置することにより、イーサネットケーブル経由で電源を供給します。（この場合、AC アダプタを接続しないでください。）

その他

製品にはダイバシティアンテナを内蔵しているので、安定した無線通信を行えます。

AutoIP に対応していますので、既に有線のネットワークがある環境では IP アドレスやサブネットマスク等の設定で頭を悩ませる必要がありません。

机の上への設置の他に、付属のネジを使用して壁に掛けての使用が可能です。

注 1 : **設定は必ず有線 LAN 経由で行ってください。** 設定用パソコンには、製品に付属のクライアントカードをセットして、有線 LAN 経由でネットワークに参加してください。通信チャネルや通信方式を変更する場合等に、無線通信で設定を行っている、設定中に通信ができなくなることがあります。（「設定方法」の「2. アクセスポイントの設定」を参照）



Windows XP、2000 でご利用の客様へ重要なお知らせ

本製品と通信を行うパソコンに Windows XP、2000 をご使用で、DHCP クラウドクライアントとして TCP/IP 設定を行っている場合、コンピュータ名が半角で 14 文字を超えていると IP アドレスを取得できない場合があります。このような場合はコンピュータ名を半角英数字で 15 文字以内に設定してください。詳しくは「補足事項」の「コンピュータ名の設定」をご参照ください。

設定方法

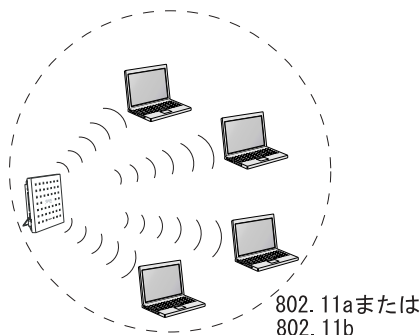
設定の前に - 基本的な機能について -

ここでは本アクセスポイントで構築可能な無線ネットワーク形態および、無線クライアントとの通信設定についてご説明します。設定を行う前にご確認ください。

設定可能な無線ネットワーク形態

単一のネットワーク（シングルチャネルモード（用語））

本アクセスポイントを使用して、802.11aまたは802.11bどちらか1つのネットワークを運用する場合はこのモードで行います。工場出荷時は802.11a通信のシングルチャネルモードが選択されています。

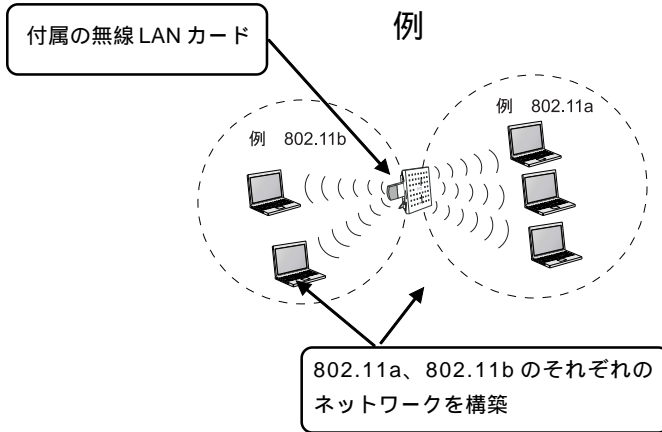


2つのネットワーク

本アクセスポイントに付属の無線LANカード（LWN-A54CBS）をセットすることにより、1台で2つのネットワークを構築することができます。セットした無線LANカードは、片方のネットワークのアンテナ代わりとなります。2つのネットワークは、それぞれ別の規格を使用する（デュアルチャネルモード）ことも、同規格の通信モードで別のチャネルを使用する（ダブルチャネルモード）ことも可能です。次ページをご参照ください。

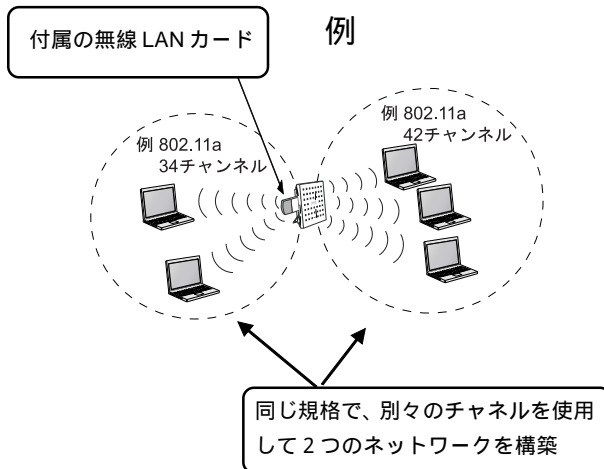
デュアルチャンネルモード

2つのネットワークを構築する際に、片方を 802.11a もう片方を 802.11b の規格を使用する場合は、このモードを選択します。



ダブルチャンネルモード

本アクセスポイントを使用して、802.11aまたは802.11bどちらか一方の規格で、独立した2つのネットワークを構築する場合はこのモードで行います。802.11bの場合、通信に使用するチャンネルは4チャンネル以上離してください(通常は自動的にチャンネル間隔を調整して最良なチャンネルを選択します)。



無線クライアントとの通信時の認証設定

クライアントとの通信を行う際の認証設定は以下の3種類から選択可能です。選択する認証方法により、セキュリティの設定やクライアント側の設定手順の方法が異なりますのでご注意ください。

スマート認証モード (用語)

スマート認証とはクライアントカードをアクセスポイントにセットして行う認証のことです。

スマート認証モードでは、アクセスポイントに弊社製無線LANカード(LWN-A54CBS)をセットして、取り外すだけで、そのカードをセットしたクライアントとアクセスポイントの通信が可能となりますので、クライアント側で面倒な設定は必要ありません。

具体的には、アクセスポイントに無線LANカードをセットしたときに、アクセスポイントから無線LANカードへ、通信設定情報、公開鍵の発行をし、カードのMACアドレスをアクセスポイントに自動登録します。情報の受け渡しを行った無線LANカードをクライアントパソコンにセットすると、交換した情報を元に認証と通信を行います。通信開始時にはLDLS(Logitech Datalink Layer Security)認証によるユーザ確認を行い、通信時はユーザーごとに異なる暗号キーを使用します。

LDLS認証とは、通信開始時にデータリンク層において公開鍵暗号方式でアクセスポイントとクライアント間の相互認証を行い、その後セッションキー(暗号キー)を生成し、そのキーをAP-クライアント間で共有して通信を行う弊社独自の認証方式です。

指紋認証(BIO)モード (用語)

指紋認証(BIO)モードとは、ネットワーク管理者の指紋を認証に使用し、管理者が許可したユーザーのスマート認証ができるようにするモードです。スマートモードのセキュリティに加え、指紋認証による制限を加えるので、より高度なセキュリティが確保されます。このモードを使用するには別売の弊社USB指紋認証ユニット(LWN-BF16U)が必要です。

手動設定

無線 LAN カード側のユーティリティを使用して、クライアントパソコン上から必要な設定を行います。

手動設定の場合は、別売の弊社製 USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) を USB メモリとして使用し、他社製無線 LAN カードとアクセスポイントとの通信設定を簡易的に行うことができます。設定は弊社製 USB 指紋認証ユニット付属のソフトウェア「Logitech Connection Helper」を使用して行います。「Logitech Connection Helper」の使用方法は USB 指紋認証ユニットのユーザーズマニュアルをご参照ください。



ご注意

- ・ スマート認証モードまたは指紋認証 (BIO) モードで設定を行う場合は、弊社製の無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をご使用ください。
 - ・ 他社製のカードまたはアダプタを直接本製品にセットしないでください。本製品および、カードやアダプタが故障する場合があります。他社製のカードではスマート認証モード、指紋認証 (BIO) モードをサポートしておりません。
-

設定の手順

1. ユーティリティのインストール

はじめに以下のインストール手順を参照して、付属CD-ROMより設定用コンピュータに無線LANクライアントドライバ・ユーティリティをインストールしてください。

インストール手順

設定用パソコンの電源を入れWindowsのシステムを起動してください。

Windows XP、2000をご使用の場合は、このとき管理者権限のあるユーザー（「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてシステムにログオンしてください。

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。セットアップランチャーが起動して以下の画面が表示されます。

「無線LANクライアントユーティリティ」のアイコンをクリックして選択状態にして、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。

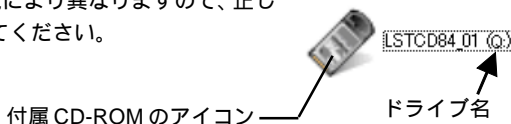


説明に使用する画像はWindows XPのもですが、表示される内容は他のOSでも同じです。

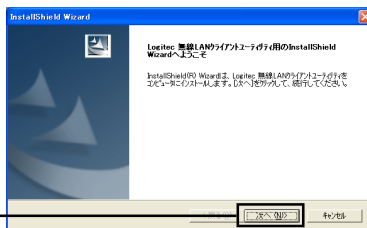
Point ポイント

セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ここで入力する「Q:」は付属のCD-ROMがセットされているCD-ROMドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。



セットアップウィザードが起動して右の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」ボタンをクリック

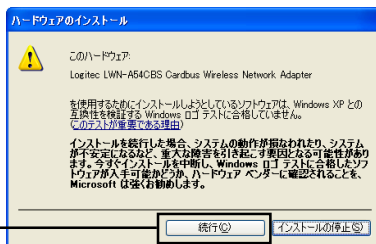
この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

Point

ポイント

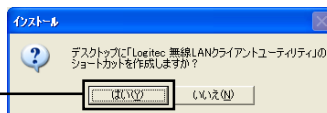
Windows XP をご使用の場合、インストールを進めてゆくと下の画面が表示されます。本ドライバをインストールする際は、以下のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows XP 上で正常に動作することを確認して提供しております。「続行」ボタンをクリックし、そのままインストールしてご使用ください。

「続行」ボタンが表示されない場合は「補足事項」の「トラブルシューティング」をご参照ください。



「続行」ボタンをクリック

インストールの最後にデスクトップにショートカットを作成するかどうかを尋ねる画面が表示されます。通常は「はい」を選択してください。



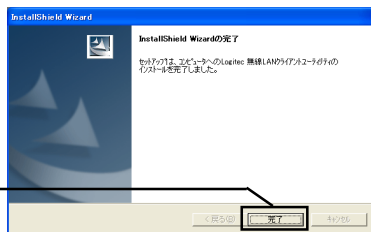
「はい」を選択

設定の手順

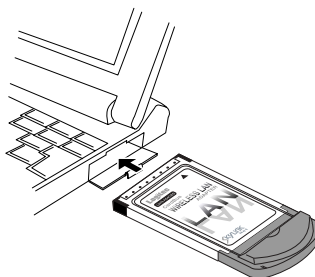
1. ユーティリティのインストール

以下の InstallShield Wizard の完了画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」ボタンを
クリック



次に付属の無線 LAN カード (LWN-A54CBS) を設定用パソコンの PC カードスロットに接続してください。

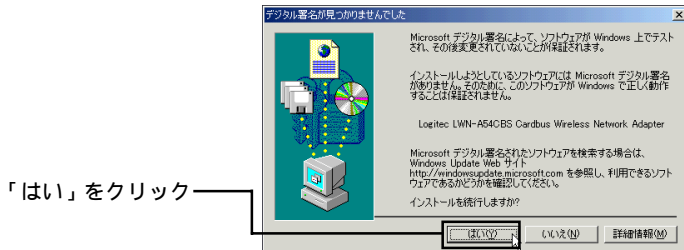


Windows Me、Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、付属の無線 LAN カードを接続すると最終セットアップが行われ、終了すると無線 LAN カードが使用可能な状態になります。「接続/インストール結果の確認」を参照して、無線 LAN カードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。

Windows XP、2000 をご使用の場合は次ページ以降をご参照ください。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 をご使用の場合、無線 LAN クライアントカードを接続すると以下のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。最終セットアップが行われ、終了すると無線 LAN カードが使用可能な状態になります。この後は「接続/インストール結果の確認」を参照して、無線 LAN カードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。



ここで「はい」ボタンが表示されず、最終セットアップが行われずに終了してしまう場合はトラブルシューティングをご参照ください。



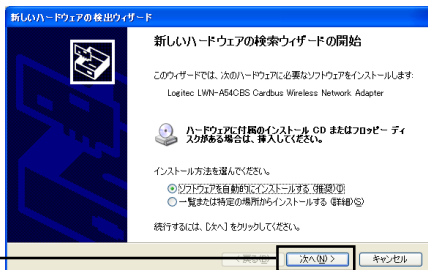
参考

本製品用のドライバは「Microsoft デジタル署名」を取得しておりませんので、上記のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000 上で正常に動作することを確認しています。

Windows XP の場合

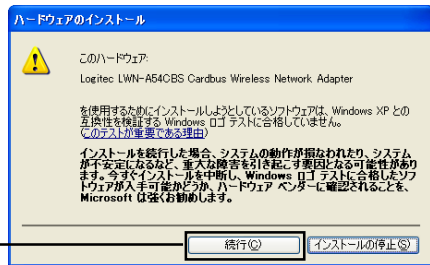
Windows XP をご使用の場合、無線 LAN クライアントカードを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。以下の手順で最終セットアップを行ってください。

右の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。



1. ユーティリティのインストール

セットアップ中に右の画面が表示されます。「続行」ボタンをクリックしてください。



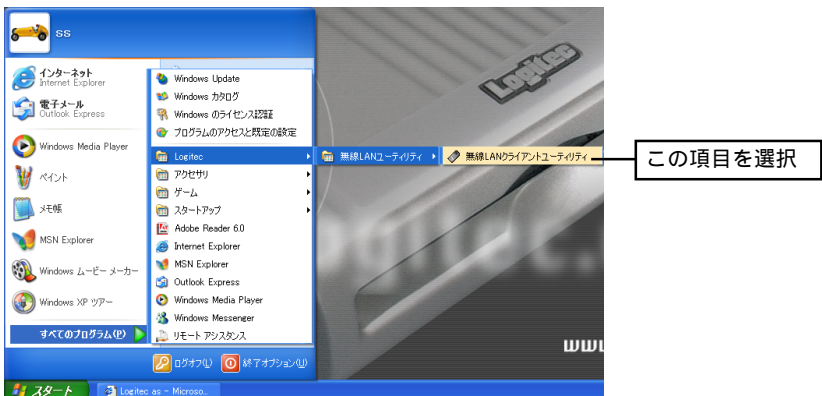
「続行」をクリック

最終セットアップが行われ、終了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



「完了」をクリック

以上でドライバ、ソフトウェアのインストールは終了です。インストールが終わったら「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「Logitech」 - 「LWN-A54CBS」 - 「ロジテック無線 LAN クライアントユーティリティ」と選択してください。



以下のようなメッセージが表示されたら、そのまま「OK」をクリックしてください。このメッセージが表示されたら通信が可能な状態になります。「接続/インストール結果の確認」を参照して、無線LANカードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。



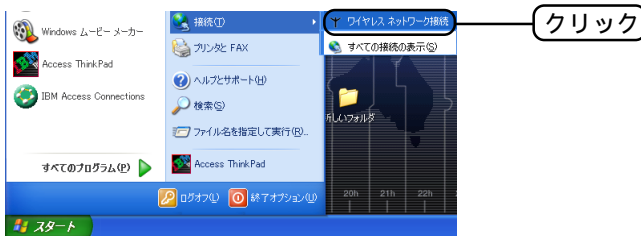
表示されない場合は、手動でワイヤレスネットワーク設定を変更する必要があります。以下をご参照ください。

いずれの場合もユーティリティが起動した状態になりますが、以降の作業はユーティリティが起動していても問題ありませんので、そのまま作業を続けてください。

ワイヤレスネットワーク設定の変更手順

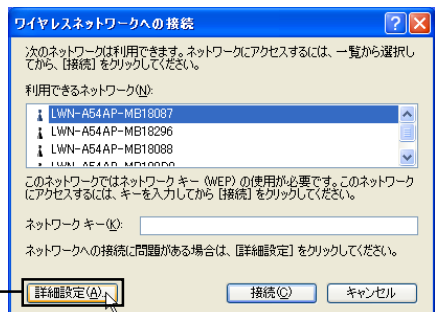
(Windows XPのみ)

「スタート」ボタンから「接続」を選択し、表示されるメニューから「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックしてください。



「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されます。「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

「詳細設定」を
クリック



設定の手順

1. ユーティリティのインストール

Point ポイント

手順 で「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示された場合は、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

「プロパティ」をクリック

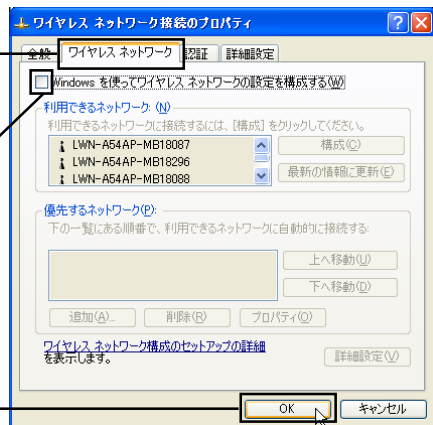


「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。「ワイヤレスネットワーク」タブを選択し、表示される画面内の「Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」のチェックをオフにして、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「ワイヤレスネットワーク」タブ
を選択

2. このチェックボックスをオフ
にします。

3. 「OK」ボタンをクリック



以上で設定の変更は終了です。この後は「接続/インストール結果の確認」を参照して、無線 LAN カードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。

接続 / インストール結果の確認

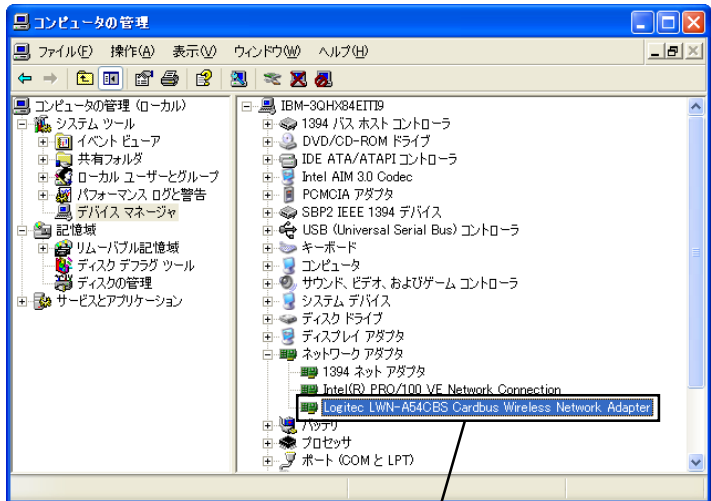
接続とインストールが終わったら以下の手順でパソコン側から無線 LAN クライアントカードが正しく認識されているかを確認してください。正しく認識されていたら、設定用パソコンからアクセスポイントの設定が可能になります。

Windows XP、2000 の場合

「マイコンピュータ」を選択して右クリックし、表示されるメニューから「管理」をクリックしてください。

「コンピュータの管理」画面が表示されるので、左側のコンソールツリー上から「デバイスマネージャ」を選択してください。

「コンピュータの管理」画面右側にデバイスの一覧が表示されます。「ネットワークアダプタ」という項目をダブルクリックし、その下に「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があり、「？」や「！」という表示がなければ、無線 LAN クライアントカードは正しく認識されています。



「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があることを確認

上の項目が表示されない場合は、「補足事項」の「トラブルシューティング」をご参照ください。

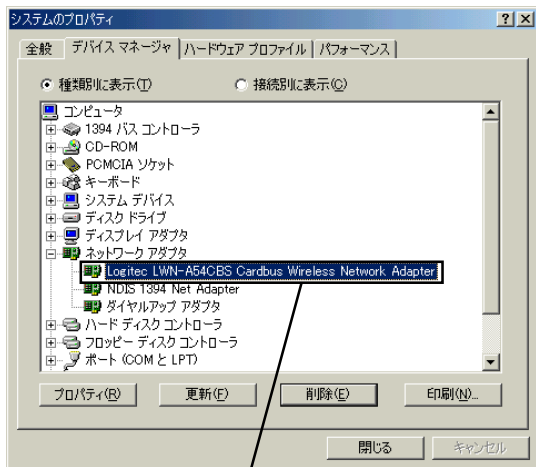
1. ユーティリティのインストール

Windows Me、98 Second Edition の場合

「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」画面が表示されるので、「デバイスマネージャ」タブを選択してください。

デバイスの一覧が表示されます。「ネットワークアダプタ」という項目をダブルクリックし、その下に「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があり、「？」や「！」という表示がなければ無線LANクライアントカードは正しく認識されています。



「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があることを確認

上の項目が表示されない場合は、「補足事項」の「トラブルシューティング」をご参照ください。

2. アクセスポイントの設定

本アクセスポイントの設定はWebブラウザから行います。次ページ以降では設定用パソコンのWebブラウザに設定画面を表示させるまでの手順についてご説明します。



Windows XP、2000 でご使用の客様へ重要なお知らせ

本製品と通信を行うパソコンにWindows XP、2000 をご使用で、DHCP クラウドとしてTCP/IP 設定を行っている場合、コンピュータ名が16文字を超えているとIPアドレスを取得できない場合があります。このような場合はコンピュータ名を15文字以内に設定してください。詳しくは「補足事項」の「コンピュータ名の設定」をご参照ください。



ポイント

- ・本アクセスポイントは工場出荷時設定で、自動的にスマート認証モードによる単一のネットワークを構築可能となっています。出荷時設定のままご使用になる場合は、パスワード設定の他は特に必要ありません。LANケーブルを使用して本アクセスポイントをルータなどに接続し、既存の有線ネットワークに参加させたら、スマート認証モードでクライアントを追加して無線ネットワークを構築してゆくことができます。詳しくは、「無線クライアントの参加方法」をご参照ください。
セキュリティ確保のため、アクセスポイントの設定画面へログインするパスワードは本製品ご購入後、必ず変更しておいてください。
 - ・工場出荷時の設定内容の一覧は「補足事項」内の「出荷時設定」をご参照ください)
-

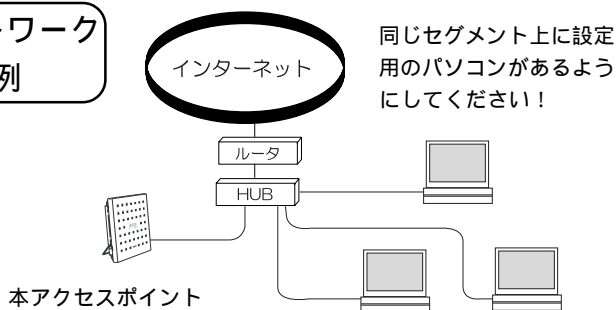
設定の手順

Point ポイント

- ・設定は必ず有線 LAN 経由で行ってください。設定用パソコンが、弊社製アクセスポイント LWN-A54APS と同一セグメントのネットワーク上にあり、製品に付属のクライアントカード (LWN-A54CBS) がセットされ、有線 LAN 経由でネットワークに参加していることを確認してください。通信チャネルや通信方式を変更する場合等に、無線通信で設定を行っている場合、設定中に通信ができなくなることがあります。
- ・はじめの設定は本アクセスポイントに同梱されている無線 LAN カードのみ可能です。(設定を行える無線 LAN カードを以降**管理者用 LAN カード**と称します) 単品で販売されている弊社製無線 LAN カードは、はじめは管理権限がないため、パソコンに接続しても設定は行えません。これらのカードの設定を管理者用 LAN カードに変更したい場合は、アクセスポイントの設定画面から行います。変更方法については付属 CD-ROM 内に収録されている「アクセスポイント設定ガイド」(PDF) をご参照ください。

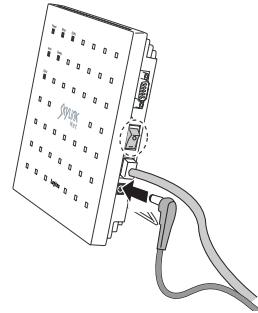
LANケーブルを使用して、本アクセスポイントをハブなどに接続してください。本アクセスポイントのLANコネクタはAuto MDI-X(用語)に対応していますので、ストレートケーブル、クロスケーブルどちらでも接続可能です。

有線ネットワーク 接続例

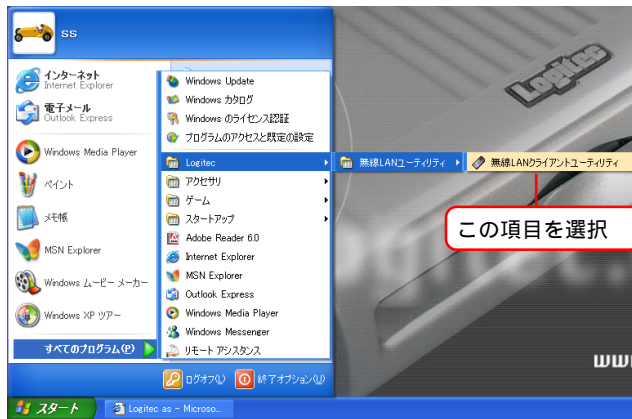


付属のACアダプタを本アクセスポイントの電源コネクタに接続し、電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。接続したら、電源スイッチをONにしてください。自己診断が行われ、終了すると本アクセスポイント前面の Power ランプが赤色に点灯します。

PoE 対応のスイッチングハブなどを使用して LAN ケーブルから直接電源の供給を受ける場合は、電源コネクタを接続しないでください。電源をONにすると、自己診断後、前面の Power ランプが緑色に点灯します。



設定用パソコンから「スタート」 - 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」) - 「Logitech」 - 「LWN-A54CBS」 - 「ロジテック無線 LAN クライアントユーティリティ」と選択してください。



画面は Windows XP のものです

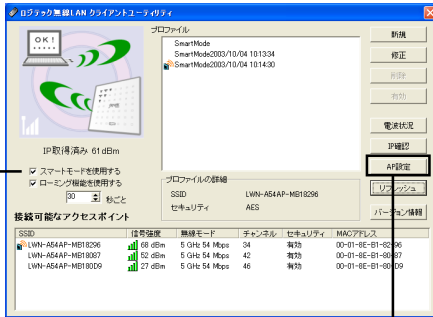
Windows XP の場合、右のようなメッセージが表示されたら、そのまま「OK」をクリックしてください。
表示されない場合は、手動でワイヤレスネットワーク設定が変更してあることを確認してください。



「OK」をクリック

2. アクセスポイントの設定

ロジテック無線 LAN クライアントユーティリティが起動します。「AP 設定」ボタンをクリックしてください。「AP 設定」ボタンは管理者用 LAN カードのみ選択できます。



スマート認証モードを使用する場合は、この項目にチェックが入っていることを確認してください。

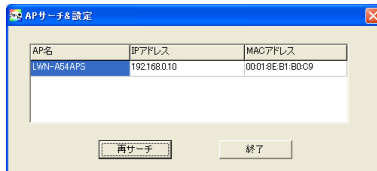
「AP 設定」をクリック

Point

ポイント

- ・ 同梱の LAN カードは「管理者用 LAN カード」となっています。また、設定画面の「ユーザー管理」メニューより設定を行えば、「管理者用 LAN カード」を増やすことができます。詳しくは CD-ROM 内の「アクセスポイント設定ガイド」(PDF ファイル)をご参照ください。
- ・ クライアントユーティリティの使用方法については付属 CD-ROM 内の「無線 LAN カードユーティリティガイド」(PDF ファイル)をご参照ください。

「AP サーチ & 設定」画面が表示され、設定可能なアクセスポイント名と IP アドレス、MAC アドレスが表示されます。設定を行うアクセスポイント名をダブルクリックしてください。



Point

ポイント

- ・ アクセスポイントの MAC アドレスは有線側と無線側の 2 種類があります。「AP サーチ & 設定」画面で表示される MAC アドレスは、無線側のもので、無線側の MAC アドレスは機器本体の裏ボタンをあげなければ確認できません。複数の弊社製アクセスポイントを導入される場合、1 台ずつ順番に設定を行い、各アクセスポイントの名前を変更して無線側の MAC アドレスとアクセスポイントの組み合わせをメモしておくことをお勧めします。

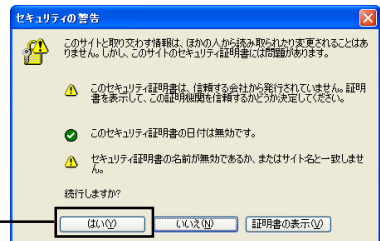
WEBブラウザを自動的に起動し右の画面が表示されます。「ログイン」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



「セキュリティの警告」画面が表示されます。「はい」をクリックしてください。表示されない場合はそのまま次の手順へ押すすみてください。

「はい」をクリック



ネットワークパスワードの入力画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードの欄に、半角小文字でユーザー名、パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

ユーザー名、パスワードは工場出荷時設定です。パスワードは設定画面にログイン後、「基本設定」の「パスワード設定」欄から変更してください。

設定画面に切り替わります。この後は付属のCD-ROMに収められている「アクセスポイント設定ガイド」(PDF形式)を参考にして、設定を行ってください。

お取り扱いについて

各部の名称と機能

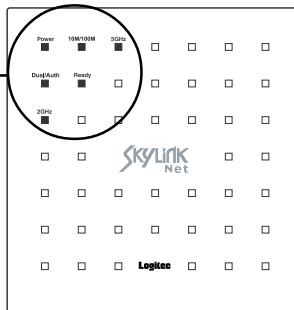
アクセスポイント本体

前面部

表示ランプ

表示ランプ

本アクセスポイントの動作状態を表示します。詳しくは「補足事項」の「表示ランプの機能」をご参照ください。



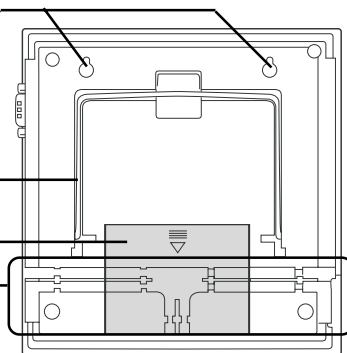
背面部

壁掛け用ホール

スタンド

裏ブタ

ガイドレール



壁掛け用ホール

ネジなどを通して本アクセスポイントを壁に掛けるのに使用します。設置方法については「設置方法」をご参照ください。

スタンド

本アクセスポイントを机の上などに設置する場合、このスタンドを引き出して設置してください。

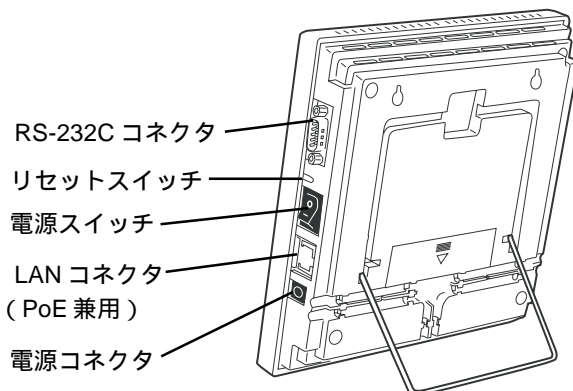
裏ブタ

min-PCIが内蔵されています。将来のアップグレードに対応可能です。(このフタはサービスマン以外は触れないでください)

ガイドレール

本アクセスポイントを壁に掛けて使用する際に、LANケーブル、電源ケーブルをこのレール沿って収納してください。

側面部 1



RS-232C コネクタ

パソコン側のシリアルポートと接続し、設定を手動で行う場合に使用します。

リセットスイッチ

- ・このスイッチを押した場合、ソフトウェアのリセット(設定情報はリセットされません)がかかり、アクセスポイントが再起動します。Web設定でログを保存する設定にしている場合、この時ログが保存されます。アクセスポイントに何か問題が発生した場合は、電源スイッチを切るのではなく、いったんこのスイッチを押して再起動を行いWeb設定画面より、ログを確認してください。ログはWeb設定画面の「システムログ」から参照できます。
- ・このスイッチを押したまま電源スイッチを入れると初期設定状態に戻ります。パスワードを変更していた場合も初期状態に戻ります。

アクセスポイントを起動する場合は、USBポートへは何も接続しないでください。別売のUSB指紋認証ユニットや、指紋認証ユニットに付属のUSB延長ケーブルを接続している場合は、取り外してから起動する必要があります。

電源スイッチ

本アクセスポイントの電源をON/OFFするスイッチです。

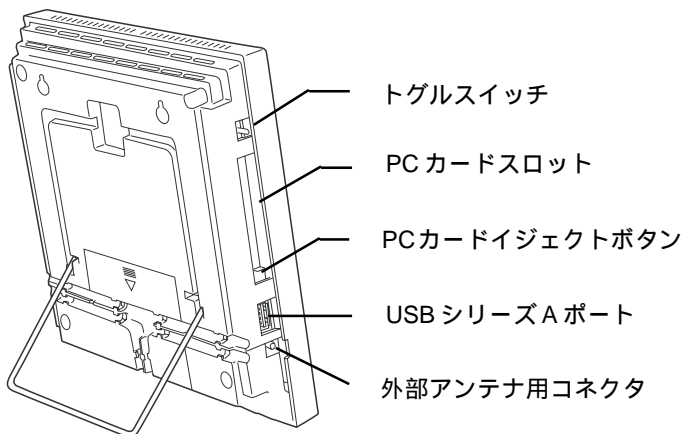
LAN コネクタ (PoE 対応)

モデムやハブ、ルータ等とLANケーブルを使用して接続します。本製品のLANコネクタはオートネゴシエーション機能(10BASE-T/100BASE-TXの自動切換え)および、Auto MDI-X機能(用語)を持っていますのでストレートケーブル、クロスケーブルのいずれのタイプも使用可能です。

電源コネクタ

この部分に付属のACアダプタのコネクタを差し込み本アクセスポイントに電源を供給します。ACアダプタは本製品に付属のもの以外のご使用にならないでください。

側面部 2



トグルスイッチ (下図参照)

- ・ アクセスポイント 1 台で 2 つのネットワークを構築する、「複合通信」(デュアル/ダブルチャネル)を行う場合は、このスイッチを一番上にセットしておきます。
- ・ クライアントの認証を、アクセスポイントの PC カードスロットに弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットして、スマート認証 (用語) で行う場合は、カードをセットする前に、このスイッチを中間の位置にセットしておきます。
- ・ クライアントの認証を、別売の USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) を使用して指紋認証 (BIO) 認証 (用語) で行う場合は、アクセスポイントに USB 指紋認証デバイスをセットする前に、このスイッチを一番下にセットします。

スイッチの位置

- 2 つのネットワークを構築する場合 — Dual
- スマート認証をする場合 — Smart
- または、カードを抜く場合 — Bio
- 指紋認証 (BIO) 認証をする場合 —



PC カードスロット (TYPE)

スマート認証または指紋認証 (BIO) 認証モードを行うときに、この部分に弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットします。無線 LAN カードと本アクセスポイント間で通信に必要な情報を交換します。情報を交換した無線 LAN カードをパソコンにセットするとセキュリティを保ちながら本アクセスポイントとの通信が可能となります。また、アクセスポイント 1 台で 2 つのネットワークを構築する、「複合通信」(デュアル/ダブルチャネル)を使用する場合は、常にこの部分に弊社製対応無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットしておく必要があります。

セットした無線 LAN カードを取り外すときは、スロット横のイジェクトボタンをご使用ください。

複合通信 (デュアル/ダブルチャネルモード) を行っている場合は、トグルスイッチを Smart にセットしてから PC カードを取り外してください。

PC カードイジェクトボタン

PC カードスロットにセットした無線 LAN カード (TYPE) を取り外す場合は、必ずこのボタンを押して取り外しを行ってください。

USB シリーズ A ポート

指紋認証 (BIO) 認証を行う際に、別売の USB 指紋認証ユニットをセットします。

また、他社製の無線 LAN カードを簡易設定・登録する場合も、この部分に別売の USB 指紋認証ユニットをセットします。この場合 USB 指紋認証ユニットは情報の受け渡しに使用します。(簡易設定・登録の行い方については USB 指紋認証ユニットのユーザーズマニュアルをご参照ください。)

外部アンテナコネクタ

別売りの外部指向性アンテナ (LWN-QAT1D) を接続する際に使用します。外部指向性アンテナを挿すと、本アクセスポイントの 2 つの内部アンテナの片方と自動的に切り替わります。

Point

ポイント

本アクセスポイント 1 台で 2 つのネットワークを構築する場合は、PC カードスロットに弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットしておく必要があります。詳しくは「無線クライアントの参加方法」の「複合通信を行う場合」をご参照ください。

無線 LAN カード (LWN-A54CBS) : 付属品



PC カードコネクタ

通信時にパソコン本体の CardBus 対応 PC カードスロットに接続します。

アクセスポイント 1 台で 2 つのネットワークを構築する場合に、アクセスポイントの PC カードスロットにセットします。(アンテナの役割をします)

この部分にはなるべく手を触れないで下さい。

アクセス表示ランプ 1 (左側)

アクセス表示ランプ 2 (右側)

通信状態に応じて、下表のように点灯/点滅します。

アクセス表示ランプの機能

状態	表示ランプ 1	表示ランプ 2
省電力モード時	消灯	ゆっくり点滅
省電力モードから復帰時	消灯	点灯
通信可能な機器を検索時	順番に点滅	
ネットワーク接続後、通信を行っていない時	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅
通信時	点滅	点滅

ご注意

アクセスポイントの設定は付属の無線 LAN カードをセットしたパソコンから行ってください。設定を行う管理者を増やす場合は、アクセスポイントの WEB 設定画面より行ってください。設定手順は付属の「アクセスポイント設定ガイド」をご参照ください。

使用環境

本アクセスポイントは、以下の環境を満たすパソコンより設定してください。OS はいずれも日本語のものに限ります。また、パソコンは CardBus に対応した PC カードスロットが搭載され、有線 LAN 環境に接続されている必要があります。(本製品に付属されている無線 LAN カードの使用環境もこれに準じます)

対応ブラウザ

Internet Explorer 5.0 以降 (5.5 Service Pack 2 以降の環境を推奨)

Java スクリプトを実行可能な環境に限ります。

また、設定時はプロキシサーバの設定を OFF にしておいてください。

対応 OS

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional

Windows Me

Windows 98 Second Edition

Windows 2000 Professional



ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

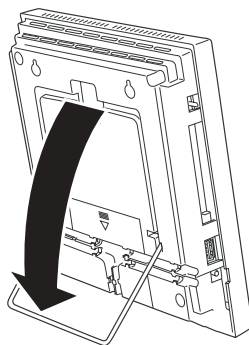
(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

設置方法

スタンドを使用した設置方法

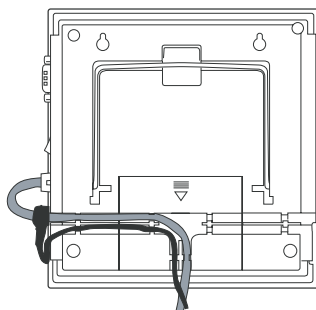
本アクセスポイントを机の上などに設置する場合、下図の様に背面のスタンドを、固定される位置まで引き出してご使用ください。



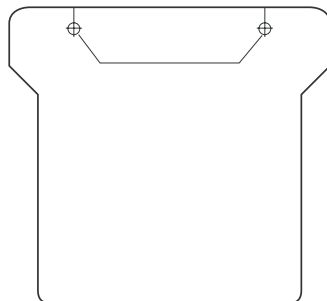
壁に掛けて設置する方法

本アクセスポイントを壁に掛けて設置する場合は、以下の手順で行ってください。

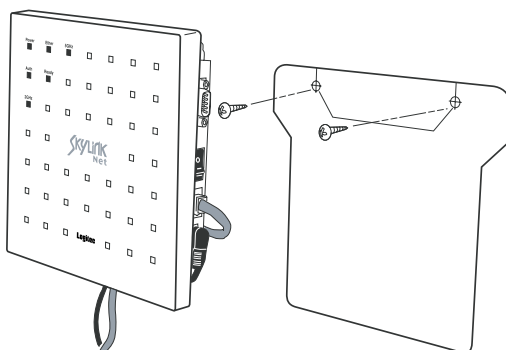
あらかじめ付属のLANケーブル、ACアダプタを本アクセスポイントに接続し、背面のガイドレールに沿って下のほうへ引き出しておきます。



本アクセスポイントを設置する場所を決めたら、壁掛け設定用台紙の裏側の両面テープをはがし、設置場所へ貼り付けます。この際、台紙が水平になるようにしてください。



付属のネジを壁掛け設定用台紙のネジ取付用十字切り込み部の中心へドライバーで固定し、本アクセスポイント背面の壁掛け用ホールを、固定したネジに引っ掛けて設置します。落下などのないように十分ご注意ください。



お取り扱いにご注意

設置場所の確認

障害物が多いオフィスなどでご使用になる場合は、初期設定後に通信環境が良好な場所に本アクセスポイントを設置してください。
別売の外部指向性アンテナ「LWN-QAT1D」をご利用いただくと通信環境が改善される場合があります。

無線クライアントの参加方法

ここでは無線クライアントパソコンが、アクセスポイントと通信を行う方法についてご説明します。ご使用になる通信設定、認証方法に該当する部分をご参照ください。

クライアントとの通信時の認証にスマート認証を使用する場合は

「 スマート認証モードでの通信 」をご参照ください。

クライアントとの通信時の認証に指紋認証 (BIO) 認証を使用する場合は

「 指紋認証 (BIO) モードでの通信 」をご参照ください。

複合通信でネットワークを構築して、クライアントを参加させてゆく場合は

「 複合通信を行う場合 」をご参照ください。

クライアントとの通信時の認証設定を手動にて行う場合は

「 手動設定による通信 」をご参照ください。

指紋認証 (BIO) モードで使用する場合は、あらかじめWEB設定画面より、本アクセスポイントの無線設定を利用環境に応じて変更しておく必要があります。詳しくは付属のCD-ROMに収められている「アクセスポイント設定ガイド」(PDF形式)をご参照ください。



ご注意

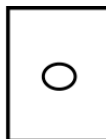
- ・ スマート認証モードまたは指紋認証 (BIO) モードで設定を行う場合は、弊社製の無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をご使用ください。
 - ・ 他社製のカードまたはアダプタを直接本製品にセットしないでください。本製品および、カードやアダプタが故障する場合があります。他社製のカードではスマート認証モード、指紋認証 (BIO) モードをサポートしておりません。
-

スマート認証モードでの通信

スマート認証モードで通信を行う場合は弊社製無線LANカード(LWN-A54CBS)を以下の手順で設定してください。

本アクセスポイントの電源がONになっていることを確認し、トグルスイッチをSmart側にセットします。

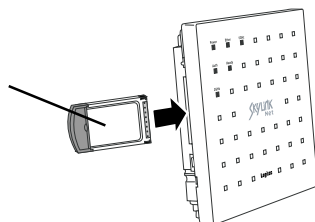
Dual
Smart
Bio



弊社製無線LANカードを本アクセスポイントのPCカードスロットにセットします。無線LANカードと本アクセスポイント間で通信に必要な情報を交換します。値の交換には数秒間かかります。

情報交換中は前面のPowerランプ、10M/100Mランプ、Dual/Authランプ、Readyランプが点滅し、終了するとReadyランプが緑色に点灯します。

弊社製無線LANカード
(LWN-A54-CBS) をセット



PCカードイジェクトボタンを押して無線LANカードを本アクセスポイントから取り外し、通信を行うパソコン側にセットします。

通信を行なうパソコンにはあらかじめ無線LANカードのユーティリティがインストールされている必要があります。詳しくは無線LANカードのマニュアルをご参照ください。

以上で設定は終了です。これでクライアント側から通信が可能となります。

指紋認証 (BIO) モードでの通信

指紋認証 (BIO) モードで設定を行う場合、あらかじめ別売の USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) に、管理者の指紋を登録しておく必要があります。詳しくは USB 指紋認証ユニットの取扱説明書をご参照ください。

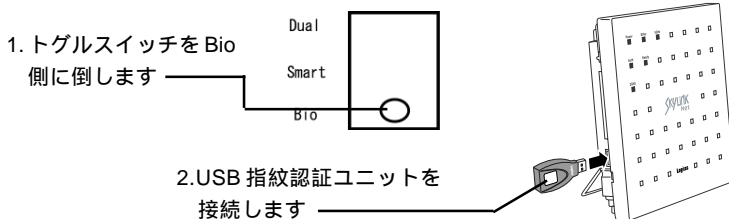


重要なご注意

指紋認証 (BIO) モードで設定を行なう場合、無線 LAN カードをアクセスポイントから取り外す時は、必ずトグルスイッチを、Smart 側に倒してから PC カードのイジェクトボタンを押して取り外してください。

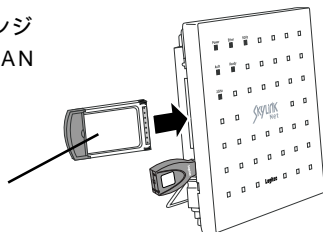
複合通信に設定している場合に、あらかじめアクセスポイントに接続されアンテナの役割をしている無線 LAN カードを取り外す場合も同じように取り外してください。

アクセスポイントの電源が ON になっていることを確認し、トグルスイッチを Bio 側に倒しアクセスポイントの USB ポートへ別売の USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) を接続します。



アクセスポイントの Dual/Auth ランプがオレンジ色に点滅したのを確認したら弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットします。

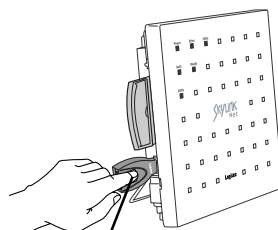
弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットします。



ご注意

- トグルスイッチを Bio に倒す前に無線 LAN カードをセットしてしまった場合は、すぐに取り外しを行わず、と Ready ランプが緑色または赤色に点灯したのを確認してから取り外し、再度手順 1 からやり直してください。
- Dual/Auth ランプが消灯している場合は、USB 指紋認証ユニットがアクセスポイントに登録されていない、または正しく認識されていないことが考えられます。USB 指紋認証ユニットのユーザズマニュアルおよびユーティリティガイドをご参照の上、再度 USB 指紋認証ユニットに指紋の登録をしておいてください。

アクセスポイントのReadyランプがオレンジ色に点滅したら、指紋登録してある指をUSB指紋認証ユニットのセンサー面にのせてください。10秒以上指紋認証を行わないと、Readyランプが赤色に点灯し、指紋認証ができなくなります。この場合は無線LANカードをいったん取り外し、再度手順1からやり直してください。



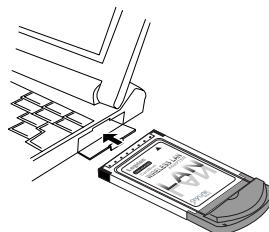
登録している指を載せてください

指紋が認証されるとアクセスポイントのPowerランプ、Dual/Authランプ、Readyランプ、10M/100Mランプが順番に点滅してスマート認証が行われ、終了するとReadyランプが緑色に点灯します。

認証に失敗した場合は赤色に点滅します。その場合はいったん指をセンサー面から離し、Readyランプがオレンジ色に点滅したら、再度指を載せてみてください。

3回認証に失敗したらReadyランプが赤色に点灯するので、センサー面に汚れがないか確認し、本製品をいったん取り外し、再度手順1からやり直してください。

トグルスイッチをSmart側に倒し、アクセスポイントのPCカードイジェクトボタンを押して無線LANカードを取り外し、通信を行うパソコン側にセットします。



パソコン側にはあらかじめ無線LANカードのユーティリティがインストールされている必要があります。

以上で設定は終了です。これで通信が可能となります。
複数のクライアントを認証する場合は1～5の手順を繰り返します。

複合通信を行う場合

複合通信を行う場合は、以下の手順をご参照ください。

アクセスポイントのWEB設定画面で、左側のメニューより通信チャンネルモード設定を選択してください。

この項目を選択

無線設定
スマート認証モード設定
通信チャンネルモード設定
無線情報設定

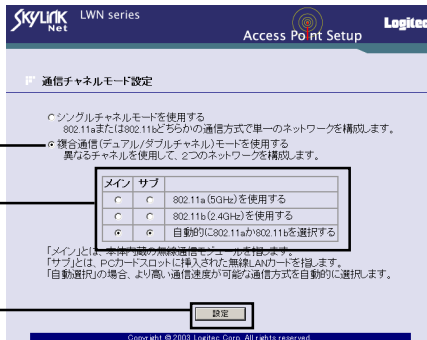
以下の画面が表示されます。

- ・「複合通信（デュアル/ダブルチャンネル）モードを使用する」のラジオボタンをONにします。
 - ・通信に使用する規格をメイン/サブと表示されている部分のラジオボタンで選択して選びます。
 - ・「設定」ボタンを押します。
- メイン/サブが異なるチャンネルで行う通信をデュアルチャンネルモード、同じチャンネルで行う通信をダブルチャンネルモードとなります。

1. 「複合通信（デュアル/ダブルチャンネル）モードを使用する」を選択

2. 通信チャンネルを設定

3. 「設定」ボタンをクリック



参考

「メイン」とは、本体内蔵の無線通信モジュールを使用した通信を指します。
「サブ」とは、PCカードスロットにセットされた弊社製無線LANカードがアンテナとなる通信を指します。
WEB設定画面についてはCD-ROM内の「アクセスポイント設定ガイド」もご参照ください。

802.11bは室内、屋外でも利用できますが、802.11aは電波法上室内のみの使用に限定されておりますのでご注意ください。

通信に参加する無線 LAN カードを全てスマート認証または指紋認証 (BIO) します。

ダブルモードで通信設定を行っている場合認証を行ったカードは、ロードバランス (負荷分散) のため、以下のようにメインとサブに振り分けられます。

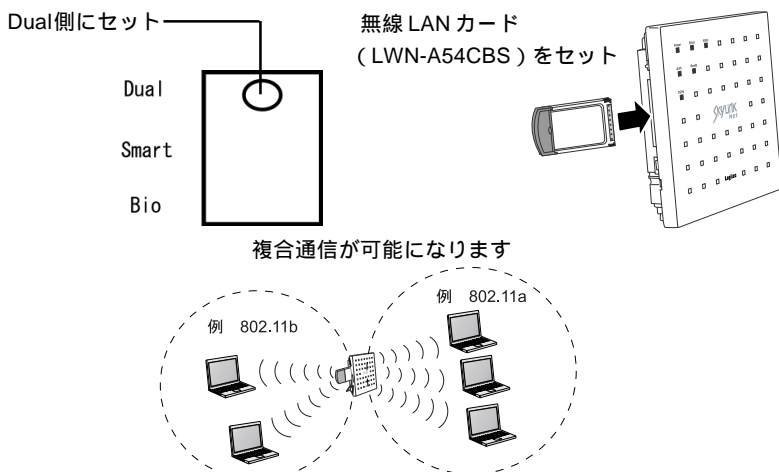
- 1 枚目 メインに接続
- 2 枚目 サブに接続
- 3 枚目 メインに接続
- 4 枚目 サブに接続

デュアルモードで通信設定を行っている場合、認証を行ったカードはメイン側/サブ側接続できる状態に設定されます。802.11a、802.11 を選択して通信を行いたい場合は、クライアントユーティリティ上でプロファイルを修正してください。プロファイルの修正方法については CD-ROM 内の「無線 LAN カードユーティリティガイド」(PDF 形式) をご参照ください。

認証手順については「スマート認証モードでの通信」「指紋認証モードでの通信」をご参照ください。

手動設定の場合は へお進みください。

接続する全ての無線 LAN カードの認証が終わったら、トグルスイッチを Dual 側にセットして、付属の無線 LAN カードをアクセスポイントにセットすると、複合通信が可能となります。



例 「複合通信」(デュアルチャネル) でネットワークを構築した場合

複合通信でネットワーク構築後にクライアントを追加する手順

トグルスイッチを「Smart」にセットしてください。

Ready ランプが緑色に点灯することを確認してください。

PC カードイジェクトボタンを使用して、アンテナとして使用している無線 LAN カードを取り外してください。

取り外しは必ず Ready ランプが緑色に点灯してから行ってください。これはデバイスを取り外すために準備が必要なためです。点灯していない状態で取り外しを行った場合は、動作の保証をいたしかねます。

設定に応じてスマート認証または指紋認証 (BIO) を行ってください。

追加する全ての無線 LAN カードの認証が終わり、クライアント用の無線 LAN カードをアクセスポイントから取り外したら、トグルスイッチを「Dual」側にセットします。

アンテナとして使用していた無線 LAN カードをセットしてください。

認証中は、サブとなるチャンネル (無線 LAN カードがアンテナ代わりとなっているチャンネル) で構築されているネットワークは一時的に通信ができなくなります。

手動設定による通信

クライアントとの通信を手動設定で行う場合は、アクセスポイントの WEB 設定画面で、利用環境に応じた無線チャンネルの設定、SSID、暗号キーを設定しておきます。クライアント側のカードは、その値でアクセスポイントと通信を行ってください。



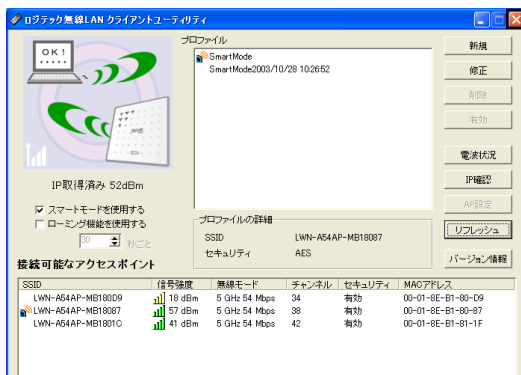
参考

手動設定の場合は、別売の弊社製 USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) を USB メモリとして使用し、他社製無線 LAN カードとアクセスポイントとの通信設定を簡易に行うことができます。設定は弊社製 USB 指紋認証ユニット付属のソフトウェア「Logitech Connection Helper」を使用して行います。「Logitech Connection Helper」の使用方法は USB 指紋認証ユニットのユーザーズマニュアルをご参照ください。

「複合通信」設定時に、手動設定を行う場合は、アクセスポイントの WEB 設定画面の「無線情報設定」画面で、メイン/サブの SSID、暗号キーの設定をそれぞれ行っておきます。無線クライアントは、参加する側 (メインまたはサブ) の設定値をパソコン側で手動で設定してください。

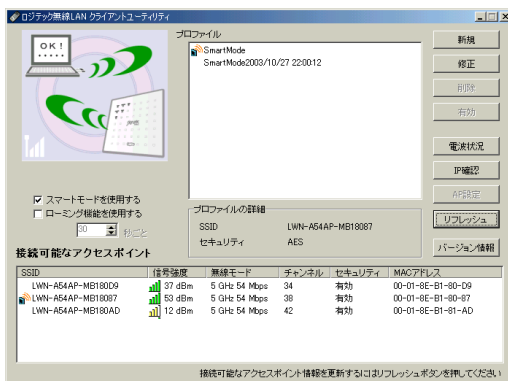
通信時のポイント

弊社製無線LANカード(LWN-A54APS)を使用して無線通信を行う場合、通信確立後、クライアントユーティリティを終了させてご使用いただくことも可能です。通信確立後は、ユーティリティを終了させても、通信が継続されます。また、ユーティリティを終了させることによって最大のスループットを得ることができます。クライアントユーティリティはのメインウィンドウで、クローズボックスをクリックし終了して使用することをお勧めします。



クローズボックスをクリック

Windows Me、98Second Edition をご使用の場合、ユーティリティは、起動時に接続可能なアクセスポイントの検索を行った後は、自動的にアクセスポイントの検索を行いません。そのような場合は「リフレッシュ」ボタンをクリックしてください。

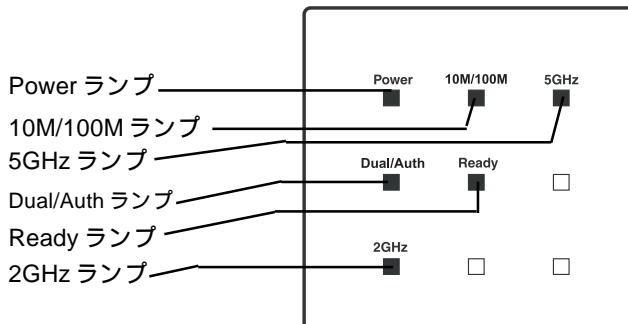


無線クライアントの
参加方法

Windows XP、2000 では、「リフレッシュ」ボタンを押さなくとも、ユーティリティ起動中は自動的にアクセスポイントの検索を行いません。

表示ランプの機能

アクセスポイント前面の表示ランプの機能は以下のようになっております。



Power ランプ

本アクセスポイントの電源スイッチをオンにすると点灯します。

- ・ AC アダプタを接続している場合は赤色に点灯します。
- ・ LAN ケーブル経由で電源の供給を受けている場合（PoE）は緑色に点灯します。
- ・ 自己診断モードおよび異常が発生した場合は、赤色に点滅します。

10M/100M ランプ

- ・ 100Base-Tx で有線 LAN と接続されている場合は、緑色に点灯します。
- ・ 10Base-T で有線 LAN と接続されている場合は、黄色に点灯します。
- ・ データの送受信を行っている時はそれぞれの色で点滅します。
- ・ 有線が接続されていないときには消灯しています。

5GHz ランプ

- ・ 802.11a の通信が選択されているときに緑色に点灯します。また、無線通信中は緑色に点滅します。

Dual/Auth ランプ

- ・ トグルスイッチが Dual 側にあるときにオレンジ色に点灯します。
- ・ トグルスイッチが Bio 側にある場合に、黄色に点滅します。

Ready ランプ

- ・ スマート認証が終了すると緑色に点灯します。
- ・ 本アクセスポイントが対応していない無線製品を検出すると赤色に点灯します。
- ・ 通常は消灯しています。
- ・ 指紋認証 (BIO) に成功するとオレンジ色に点灯します。失敗時するとオレンジ色点滅します。3回続けて失敗すると赤色に点灯します。

2GHz ランプ

- ・ 802.11bの通信が選択されているときに緑色に点灯します。また、無線通信中は緑色に点滅します。

自己診断機能について

本アクセスポイントは電源がONになると、自己診断を実行する機能があります。自己診断でエラーが見つかった場合、Powerランプが赤色に点滅すると共に、エラー内容によってその他の表示ランプが以下の様に点滅します。

問題箇所	表示ランプ	表示色	表示方法
RAMエラー	Ready	赤	点滅
PCI	Ready	オレンジ	点滅
PCC(PCI制御チップ)	10/100LAN	オレンジ	点滅
LANチップ	10/100LAN	緑	点滅
USB関係	Dual/Auth	赤	点滅
ROM	Dual/Auth	緑	点滅

その他：OS上のエラーが発生した場合は、Readyランプが高速で点滅し、Powerランプが赤色で点滅します。

自己診断中およびスマート認証モード、指紋認証 (BIO) 認証モードでのパラメータ受け渡し時 (無線 LAN カードまたは無線 LAN アダプタセット時) には、Powerランプ、Dual/Authランプ、10M/100Mランプ、Readyランプが順番に点滅します。

表示ランプで異常を確認した場合は、弊社まで修理をご依頼願います。

本アクセスポイントで設定可能な機能

本アクセスポイントには、無線ネットワークの形態や無線クライアントとの通信方法の設定の他に、以下のような機能が設定可能です。ここで説明する機能はすべてWEBブラウザ経由で設定が可能です。設定方法については付属のCD-ROMに収められている「アクセスポイント設定ガイド」(PDF形式)をご参照ください。

Auto IPで取得

アクセスポイントのIPアドレスを自動的に取得する機能です。この機能をONにすると、参加しているネットワークにDHCPサーバがない場合は空きIPアドレスを検索し、アクセスポイント自身に割り振ります(169.254.xx)。DHCPサーバがある場合は、DHCPサーバからIPを取得します。

タイムサーバの参照機能

アクセスポイントの時刻を正確な現在時刻に同期するタイムサーバを指定することができます。

タイマーモード(接続可能な相対時間の指定)

現在の時間から、任意の時間後に通信を切断するように設定ができます。

通信切断後にアクセスポイントと通信を再開する場合は、再度無線LANカードをアクセスポイントにセットしてスマート認証を行ってください。

自動切断モード(切断時刻の指定)

毎日一定の時刻が来ると通信を切断するように設定ができます。

アクセスイレーザ

この機能をONにすると、スマート認証時に無線LANカードへ登録されたパラメータ(セッションキー、SSID等)が、クライアントパソコンへ接続すると同時に無線LANカードから削除されます(パラメータはクライアントパソコン内部にセキュアな形で保持されます)。これにより、該当する無線LANカードを使用可能なパソコンが限定され、最初に装着されたパソコンとの組み合わせでのみ使用可能となります。

プライバシーセパレータ(クライアント間通信遮断機能)

本アクセスポイントへアクセスしているクライアントパソコン同士が、お互いのパソコンを参照できないようにする機能です。この機能はシングルチャネルモード時のみ有効です。

登録ユーザー一覧(ACL: Access Control List)

登録されているMACアドレスを元に、通信の許可、拒否およびユーザー権限(管理者またはユーザー:管理者はアクセスポイントの設定を変更できます)を設定できます。また、フィルタされているMACアドレスの有効期限も設定できます。

出荷時設定

本アクセスポイントの出荷時設定は下表のようになります。

ユーザー名	WEB設定時	
	RS- 232C 通信時	
パスワード	WEB設定時	
	RS- 232C 通信時	
IPアドレス設定方法	Auto IPで取得	
タイムサーバ設定	未設定	
クライアントとの接続設定	IEEE 802.11a シングルチャネル スマートモード（通常）	
プライバシーセパレータ	無効	
MACアドレスフィルタ設定	使用する	

シリアル接続で設定する場合

本製品をシリアル接続で設定する場合は、市販のRS-232Cクロスケーブル（9ピン：メス-メス）を使用し、以下の設定で通信を行ってください。

ビット/秒 : 115200
データビット : 8
パリティ : なし
ストップピッチ : 1
フロー制御 : なし

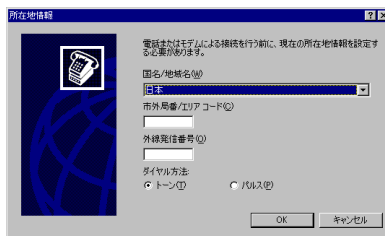
大文字、小文字は区別されます。

ハイパーターミナルを使いコンソールからアクセスする

ハイパーターミナルを起動します。

所在地情報の登録を行っていない場合は市外局番の確認画面が表示されますので、市外局番の欄にお住まいの市外局番を入力して、「OK」ボタンを押してください。

この画面が表示されない場合は手順へお進みください。

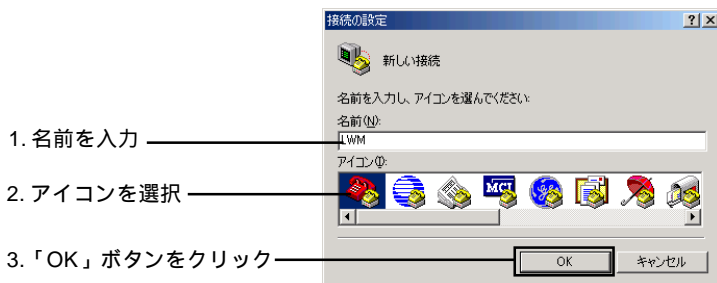


使用している画像は Windows 2000 のものです。

設定を行った市外局番の確認画面が表示されますので、確認後「OK」ボタンを押してください。



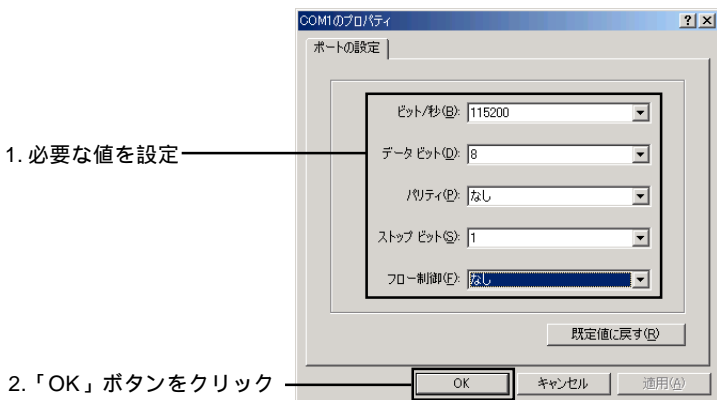
右の画面が表示されます。「名前」の欄に任意の名前を入力し、アイコンの欄から任意のアイコンを選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。



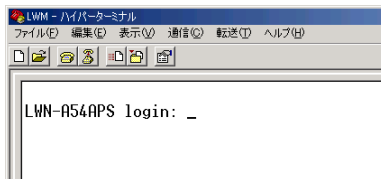
「接続の設定」画面が表示されますので、「接続方法」のプルダウンメニューより、装置が接続されているCOMポートを選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。



「COMxのプロパティ」画面が表示されますので前頁の値の通りに設定を変更して「OK」ボタンをクリックします。



ハイパーターミナルが起動し右の画面が表示されます。

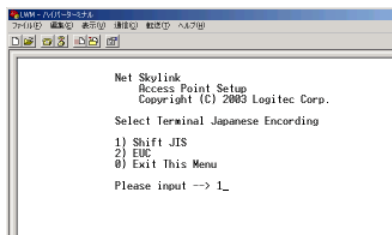


(表示されない場合は「Enter」キーを押してください。)

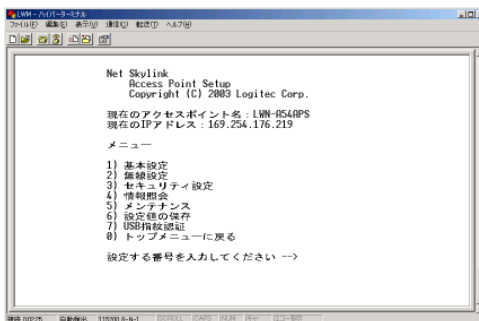
Passwordを

入力し「Enter」キーを押してください。パスワードを入力せずに60秒間放置すると再度ログインが必要になります。ご注意ください。

文字コードを設定する画面に切り替わります。「1」を入力し、「Enter」キーを押してください。



設定メニューが表示されます。設定する番号を入力するとそれぞれの設定画面に切り替わります。



ハイパーターミナルから設定可能な項目は基本的にWeb画面で行うものと同じです。ただし、以下の設定は行えません。

- ・ 接続中ユーザーの一覧表示
- ・ 送受信パケット数の表示
- ・ ファームウェアアップデートの
- ・ プロファイルのダウンロード/アップロード

コンピュータ名の設定

本製品と通信を行うパソコンに Windows XP、2000 をご使用で、DHCP クラウドとして TCP/IP 設定を行っている場合、コンピュータ名が半角で 16 文字を超えていると IP アドレスを取得できない場合があります。このような場合は、コンピュータ名を半角英数字 15 文字以内に設定してください。



ご注意

ご使用のパソコンを管理ネットワークに参加させるためには、パソコン側の設定だけでは有効になりません。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

Windows XP の場合

「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」を選択し、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」画面が表示されるので「コンピュータ名」タブをクリックしてください。

「コンピュータ名」の画面が表示されます。画面内の「変更」ボタンをクリックしてください。

「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。新しいコンピュータ名を半角英数字 15 文字以内で入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(コンピュータ名は数字だけでは設定できません。)

再起動を促すメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。再起動後、設定が有効になります。

Windows 2000 の場合

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」画面が表示されるので「ネットワーク ID」タブを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

「識別の変更」画面が表示されます。新しいコンピュータ名を半角英数字 15 文字以内で入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(コンピュータ名は数字だけでは設定できません。)

そのまま終了すればそのコンピュータ名が有効になります。

「ドメインのユーザー名とパスワード」画面が表示された場合は、コンピュータ名の管理を行っているホストが存在します。この場合は、ネットワークの管理者にご相談ください。

ローミング機能について

本製品では2通りのローミング方法を用意しています。

クライアントローミング

クライアントユーティリティを使用して、複数のアクセスポイントの設定情報をプロファイルとして登録しておき、アクセスポイント間移動時に、クライアント側が自動的にプロファイルを変更して、通信を継続する機能です。プロファイルの切り替え時に一時的に通信は途切れます。クライアントローミングの方法については、付属CD-ROMに収められている「無線LANカードユーティリティガイド」(PDF形式)の「9. 補足説明」をご参照ください。

APクローンによるローミング

WEB設定画面よりアクセスポイント(APIとします)の設定をダウンロードして、その設定を他のアクセスポイント(AP2とします)にアップロードすることにより複数のアクセスポイント間で同じ接続設定情報が共有できるようになります。そのためクライアントは同じプロファイルを使用して、APIの通信可能範囲からAP2の通信可能範囲へ移動した場合も通信を継続することができるようになります(注)。

APクローンによるローミングは、弊社製アクセスポイント同士でのみ設定可能です。APクローンによるローミング機能の設定方法については、付属のCD-ROMに収められている「アクセスポイント設定ガイド」(PDF形式)の「プロファイルダウンロード/アップロード」をご参照ください。

注：ただし、無線レベルで電波を拾えなくなれば、一時的に通信は途切れます。

トラブルシューティング

通信ができない

本アクセスポイントの接続の状態をご確認ください。

正しく接続されている場合、前面の Power ランプが緑色または赤色に点灯していることをご確認ください。Power ランプが赤色に点滅している場合は、本アクセスポイントになんらかの異常が発生しています。ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

Power 表示ランプが消灯している場合、AC アダプタの接続をもう一度確認してください。

PoE での接続を行っている場合、本アクセスポイントに電源を供給している LAN スイッチが PoE 対応のものかどうかを確認してください。

Web 設定画面を起動し、無線側情報の送信パケット、受信パケットの値が変化しているかどうかを確認してください。パケットに変化がない場合、クライアントからアクセスがうまくいっていない可能性があります。

クライアント側の無線 LAN カード（アダプタ）が正常に動作していることを確認してください。

クライアントパソコンの TCP/IP の設定は正しく行われていますか？正しく行われている場合はクライアントユーティリティの左上部分に「IP 取得済み」と表示されています。

「IP 取得済み」と表示されているのに通信ができない場合は以下のことが考えられます。

ご使用のパソコンに複数の LAN カードがある場合（たとえば、1 つはパソコン本体の有線 LAN で、もう一つが本製品の場合等）「IP 取得済み」と表示されてもインターネットに接続できないなど、通信ができない場合があります。これは、有線 LAN カードの LAN ケーブルが抜かれていても OS の通信経路が有線 LAN カードになっており、有線 LAN カードの設定情報が残っているためです。このような場合は、いったんログオフするか、システムを再起動してみてください。

それでも通信ができない場合は、デバイスマネージャ上で使用しないネットワークアダプタを使用不可に設定してみてください。

まず何をしたらよいのでしょうか？

付属の無線 LAN カードは、工場出荷時にスマート認証を本アクセスポイントとしてありますので、後はパソコンにドライバとユーティリティをインストールして、カードをセットしてください。（「設定方法」の「1. ユーティリティのインストール」参照）

次にユーティリティを立ち上げアクセスポイントを検索し、WEB 設定画面に入ったら、パスワードを変更してください。（「設定方法」の「2. アクセスポイントの設定」参照）

使用環境が室外であれば、通信チャンネルモード設定を IEEE802.11b モードに固定し、室内であれば、IEEE802.11a または自動にされることをお勧めします。工場出荷時設定は、IEEE 802.11a です。

その他の設定は工場出荷時に、高セキュリティとなっておりますので、そのままお使いいただいても安心です。

複数のクライアントを参加させるには、そのクライアントの使用する無線 LAN カード毎にスマート認証を行い、後はクライアントパソコンにドライバとユーティリティをインストールしてカードをセットするだけで、ご使用になられます。（「無線クライアントの参加方法」参照）

クライアントパソコン上で付属の無線 LAN カードが認識されない。

無線 LAN カードが PC カードスロットに正しくセットされているかをご確認ください。浮いていたり、ごみなどによって接触不良を起こしていませんか？

パソコン側の PC カードスロットは CardBus（32 ビット）に対応していない可能性があります。パソコン本体のマニュアル等でご確認ください。

「設定方法」の「1. ユーティリティのインストール」-「接続 / インストール結果の確認」を参照し、デバイスマネージャ上で付属の無線 LAN カードが認識されているかを確認してください。認識されていない場合は、ドライバ・ユーティリティを再度インストールしてください。

無線 LAN カードをもう一度セットしなおしてみてください。

無線通信が途切れる。

付近に妨害(干渉)電波が出ている可能性があります。パソコン上で無線 LAN の設定画面にアクセスして、使用チャンネルを変更して見て下さい。

アクセスポイントをクライアントパソコンから見て、見通しの良いところに置いてみましょう。

別売の外部指向性アンテナをご利用いただくと、通信が安定する場合があります。

データの転送レートが遅い

本アクセスポイントの設置環境をもう一度ご確認ください。周囲に障害物が多いと、通信のスループットが低下する場合があります。このような場合は別売の外部アンテナをご使用ください。

クライアント側のカードが IEEE802.11a/b の場合に、IEEE802.11a で通信を行おうとしているのに対し、IEEE802.11b で通信が固定されていませんか？ 802.11bのダブルチャンネルモードで使用している場合、チャンネルは4チャンネル以上離していますか？

近くに同じ周波数帯を使用しているアクセスポイントはありますか？ クライアントユーティリティを使用して同じ周波数帯を使用しているAPが検出されたら、違うチャンネルに固定にしてご使用ください。

Windows 2000 でドライバのインストール時、

「Microsoft デジタル署名」から先に進めない。

Windows 2000 の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」 「システム」 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

Windows XP でドライバのインストール時、

「ハードウェアのインストール」から先に進めない。

Windows XP の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。

「ドライバ署名オプション」を「ブロック」から「警告」へ変更することによりこの現象を回避することができます。

ドライバ署名オプションは、「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」を右クリック 「プロパティ」 「システムのプロパティ」ウィンドウ 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで表示することができます。

「10M/100M」ランプが点灯しません

本製品のLANコネクタはAuto Negotiation、Auto MDI-X、PoEに対応しています。電源投入時に接続先の状態を検知しますので、流に配置してあるPoE対応のハブ等の電源投入を確認しLANケーブルを接続後、本製品の電源を投入してください。

電源スイッチをONにしても表示ランプが点灯しません。

ACアダプタがしっかりと接続されているかをご確認ください。

PoEの場合、上流に配置してあるハブ等の対応機器はIEEE802.3af準拠品ですか？

PoEの場合、ACアダプタを本製品に挿したままだと電源供給できません。ACアダプタを外してPoE対応のハブ等より供給してください。

ファームウェアアップデート中、電源を切りませんでしたか？メモリ内のデータが破壊された可能性がありますので、修理依頼をお願いします。修理後は工場出荷時設定となります。

電源スイッチをONにしても、正常に起動しません

電源投入後、表示ランプをご確認ください。表示ランプの詳細は「補足事項」の「表示ランプの機能」をご参照ください。表示ランプがエラーをあらわす表示になっていたら、修理をご依頼ください。

クライアントユーティリティのAP設定ボタンが使用できない

使用しているカードは本製品に付属のものですか？AP設定ボタンは本製品付属のシステム管理者用のクライアントカードまたは、管理者が許可したクライアントのカードがセットしてあるパソコン上のユーティリティしか使用できません。

パスワードを忘れてしまいました

設定画面でプロフィールをダウンロードしていた場合は、ファクトリリセット（リセットスイッチを押しながら電源スイッチをONにします）を実行後、WEB設定画面に入り、プロフィールを本製品へアップロードしてください。選択した種類の情報をダウンロードした時点までの復旧が可能です。定期的に、全情報をパソコンへダウンロードしておくことをお勧めいたします。

「全情報」または「APクローン」を選択した場合、パスワードはダウンロード時点のものに戻りますのでご注意ください。

「登録ユーザー一覧（ACL:Access Control List）」「プロフィール（アクセスポイント設定情報）」を選択した場合は、パスワードは戻りません。従って、ファクトリリセットを行った場合は、出荷時設定のパスワードが使用できます。

付属の無線LANカードは省電力モードに対応していますか？

対応しています。

電波（無線）出力を制御・調整できる機能はありますか。

アクセスポイント、無線LANカード共に調整可能です。

設定画面が表示されない

Web ブラウザの設定でプロキシを OFF にして試してみてください。
正しい IP アドレスとポート番号 (3776) を指定していますか？ Logitech 無線 LAN クライアントユーティリティをインストールして、「AP 設定」ボタンをクリックし、「AP サーチ & 設定」画面から「サーチ」ボタンをクリックして IP アドレスを確認してください。自動で IP アドレスの検索が行われます。2 回目以降は「再サーチ」ボタンを使用します。
設定用のパソコンがアクセスポイントと同一セグメント上にあることを確認してください。アクセスポイントの設定は異なるセグメント上からは行えません。
通信に使用している無線 LAN カードのユーザ権限は管理者のものですか？ 別売の無線 LAN カードをご使用の場合、設定を変更しなければ、アクセスポイントの IP アドレスを検索することはできません。

設定画面の一部が表示されなかったり、設定変更する前の画面に戻ってしまうのですが？

ブラウザソフトのキャッシュを読み込んでいる可能性があります。キャッシュに残っている情報を削除して、もう一度設定画面が表示できるかどうかをお試しくささい。

「現在他のユーザーがアクセスポイントの設定作業中です」と表示され Web 設定画面にアクセスできない。

本アクセスポイントの設定画面には 1 度に 1 クライアントしかアクセスできません。従って、他の管理者が設定を行っている間は設定画面にアクセスすることはできません。
誰も設定を行っていないのに Web 設定画面にアクセスできない場合は、他の管理者がメニューバーの「ログアウト」ボタンを使用せずに設定画面を閉じた可能性があります。「ログアウト」ボタンを使用せずに設定画面を終了すると 5 分間は他のユーザーが設定画面にアクセスできなくなります。

他社製の無線 LAN カードは使えますか？

手動設定の場合のみ、ご使用になります。高セキュリティの LDLS やスマート認証等のご利用いただけません。
別売の USB 指紋認証ユニットを情報の受け渡しに使用すれば、手動設定で入力する情報 (SSID、暗号キーなど) を USB 指紋認証ユニットに付属のソフトウェアを使用して簡単に他社製の無線 LAN カードをセットしたパソコンに設定することができます (簡易認証機能) 。

Macintoshでも使用することができますか？

手動設定の場合アクセスポイントのみ、ご使用になれます。付属の無線 LAN カード (LWN-A54CBS) は Windows のみ対応となっております。そのため、高セキュリティの LDLS 認証やスマート認証等のご利用いただけません。

電子レンジを使うと電波が弱くなったり無線 LAN が使えなくなります。

電子レンジは IEEE802.11b または IEEE802.11g の 2.4GHz 帯域の無線 LAN と同じ周波数帯の電波を使っています。電子レンジをお使いの間は無線 LAN の電波にノイズが混入し電波状態が悪くなる場合があります。IEEE802.11a に切り替えることをお勧めします。

ローミング方法についておしえてください。

本製品のローミング方法はアクセスポイントが行うローミング (AP クローンを作成して行うローミング) と無線 LAN カード側が行うローミングの 2 種類があります。

AP クローンを作成して行うローミングは、複数の弊社製アクセスポイント間でユーザー情報などの設定情報を共有し、ユーザーがアクセスポイント間を移動しても、通信が途切れないように自動的に通信先のアクセスポイントが切り替える機能です。詳しくは CD-ROM 内の「アクセスポイント設定ガイド」(PDF) をご参照ください。

カード側が行うローミング方法とは、カード側のユーティリティ上で複数のプロファイルを登録しておき、通信可能なアクセスポイントをカード側で自動的に選択する方法です (クライアントローミング機能)。詳しくは CD-ROM 内の「無線 LAN カードユーティリティガイド」をご参照ください。

その他：ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

付録：用語に関する補足説明

AES 暗号 (Advanced Encryption Standard)
ブロック処理暗号。ラウンド変換という処理を繰り返し実行することで、安全性を確保。本アクセスポイントでは、通信時の安全性確立のために採用されている。

Auto-MDI-X 機能

自動的に送信側と受信側の信号が入れ替わる機能。従来パソコンや周辺機器をLANケーブルを使用してネットワークや他の機器と接続する場合、ハブに接続する場合はストレートケーブルを使用し、直接パソコンとピアツーピアで接続する場合はクロスケーブルを使用するなど、信号線の役割に応じてケーブルを使い分けなければなりませんでしたが、Auto-MDI-X機能をもつ機器の場合は自動的に信号を切り替えるため、ケーブルの種類を気にする必要がありません。

LDLS 認証 (Logitec Datalink Layer Security)
アクセスポイントとクライアント間の認証を公開鍵と秘密鍵の組み合わせによりチャレンジレスポンス方式で行う認証方式。この認証をデータリンク層で行うためLDLS 認証と呼びます。

IEEE802.3af : PoE

全米電子技術者協会のLAN標準委員会内でLANケーブルより電力を伝達する規格。

PoE (Power over Ethernet)

LANケーブルを使用して電源を供給する技術規格。IEEE802.3afにて定義されている。

Auto IP

DHCPサーバのない環境では、空きIPアドレスを探してIPアドレスを自動的に取得し、DHCPサーバがある環境ではDHCPに従ってIPアドレスを取得する機能。

シングルチャネルモード

本アクセスポイント1台で、1つのネットワークを構築するモード。

スマート認証モード

アクセスポイントに弊社製無線LANカードをセットして取り外し、そのカードをクライアントパソコンにセットするだけで通信が可能になるモードです。カードセット時にアクセスポイントと無線LANカードとで、設定に必要な情報を交換するので、情報の受け渡しを行った無線LANカードはクライアントパソコンにセットすると、その情報を元に認証と通信を行います。

また通信開始時にはLDLS(Logitec Datalink Layer Security) 認証によるユーザ確認を行います。

ダブルチャネルモード

本アクセスポイント1台で、同じ通信規格(IEEE802.11aまたはIEEE802.11b)の2つのネットワークを構築します。このモードで運用を行う場合は、アクセスポイントのPCカードスロットに弊社製無線LANカード(LWN-A54CBS)をセットしておく必要があります。

デュアルチャネルモード

本アクセスポイント1台で、2つの異なる通信規格(IEEE802.11aおよびIEEE802.11b)のネットワークを構築します。このモードで運用を行う場合は、アクセスポイントのPCカードスロットに弊社製無線LANカード(LWN-A54CBS)をセットしておく必要があります。

指紋認証 (BIO) 認証モード

指紋認証(BIO) 認証モードとは、ネットワーク管理者の指紋を認証に使用し、管理者が許可したユーザーのみネットワークに参加ができるようになる通信方式です。スマート認証モードのセキュリティに加え、指紋認証による制限を加えるので、第三者の不正アクセスを防ぐことが可能です。このモードを使用するには別売の弊社製USB指紋認証ユニット(LWN-BF16U)が必要です。

オプション品について

弊社では無線 LAN クライアントカードや USB 指紋認証ユニット、外部アンテナユニットを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品の求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www2.ld.logitec.co.jp/>

スマート認証モード・指紋認証(BIO)認証モード対応無線 LAN カード

型番	通信規格	備考
LWN- A54CBS	IEEE 802.11a / b	CardBus タイプ 無線 LAN カード

指紋認証 (BIO) 認証モード対応 USB 指紋認証ユニット

型番	備考
LWN- BF16U	16MBメモリ搭載 USB 指紋認証ユニット

外部アンテナユニット

型番	備考
LWN- QAT1D	2.4 / 5 GHz 共用外部指向性アンテナ

見通しのよいところに設置することによって、通信環境を改善できます。

無線 LAN カード対応 PC カードアダプタ

型番	バス	備考
LPM- CA10RP	PCI	PCI 接続 PC カードアダプタ

PC カードスロットのないパソコンで無線 LAN カードをご使用になる場合にご利用ください。ただし、パソコンに空き PCI スロットがある必要があります。

Memo

ハードウェア仕様

アクセスポイント本体

機種名	LWN- A54APS (アクセスポイント)		
準拠規格	IEEE 802.11a (無線LAN 標準互換プロトコル) IEEE 802.11b (無線LAN 標準互換プロトコル) ARIB STD- T66 (省電力データ通信システム規格)		
伝送方式	802.11a	直行周波数分割多重 (OFDM 方式)	
	802.11b	直接拡散/ スペクトラム拡散 (DS- SS 方式)	
送信出力	10mW/ MHz 以下		
データ転送速度	802.11a	6 / 9 / 12 / 18 / 24 / 36 / 48 / 54 Mbps *1	
	802.11 b	1 / 2 / 5.5 / 11 Mbps *1	
周波数範囲	802.11a	5150 ~ 5250 Mhz (5.2 GHz 帯)	
	802.11 b	2400 ~ 2497 Mhz (2.4 GHz 帯)	
チャンネル	802.11a	34 / 38 / 42 / 46 ch	
	802.11 b	1 ~ 14 ch	
アクセス方式	インフラストラクチャモード		
アンテナ	デュアル・ダイバシティアンテナ方式		
アクセス可能クライアント数	255 台		
推奨クライアント数	10 台		
セキュリティ	802.11a	スマート認証、LDLS 認証 152 / 128 / 64 bit WEP、AES - OCB SSID、MAC アドレスフィルタリング	
	802.11 b	スマート認証、LDLS 認証 128 / 64 bit WEP、AES - OCB SSID、MAC アドレスフィルタリング	
有線LANインターフェース	100 BASE- TX / 10 BASE- T *2		
PCカードスロット	CardBus 準拠 TYPE x 1		
USB コネクタ	USB シリーズ A (USB 1.1) x 1		
mini- PCI スロット	mini- PCI 準拠 TYPE B x 1		
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧	ACアダプタ	AC 100V ± 10 % 50 / 60 Hz	
	PoE	DC + 48 V	
消費電力 (定格)	5 W *4		
外形寸法 (縦 × 横 × 厚さ)	180 × 180 × 35 mm *5		
質量	610 g *6		

付属無線 LAN カード

機種名	LWN- A54CBS (付属無線LANカード)		
インターフェース	PC Card Standard (CardBus) TYPE		
無線 LAN 規格	IEEE 802.11a (無線LAN 標準互換プロトコル) IEEE 802.11b (無線LAN 標準互換プロトコル) ARIB STD- T71 (省電力データ通信システム規格) ARIB STD- T66 (省電力データ通信システム規格) RCR- STD- 33 (省電力データ通信システム規格)		
伝送方式	802.11a	直行周波数分割多重 (OFDM 方式)	
	802.11b	直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS) 方式 単身 (半二重)	
変調方式	802.11a	DBPSK at 6 ~ 9 Mbps, PQSK at 12 ~ 18 Mbps 16 QAM at 24 ~ 36 Mbps, 64 QAM at 48 ~ 54 Mbps	
	802.11b	DBPSK at 1Mbps, DQPSK at 2Mbps CCK at 5.5 & 11Mbps	
送信周波数範囲 (中心周波数)	802.11a	5.150 ~ 5.250 GHz (34、38、42、46 ch)	
	802.11b	2400 ~ 2497 MHz (1 ~ 14ch)	
データ転送速度 *1	802.11a	6 / 9 / 12 / 18 / 24 / 36 / 48 / 54 Mbps	
	802.11b	1 / 2 / 5.5 / 11 Mbps	
送信出力	10 mW/ MHz 以下		
通信距離	通信環境による		
アクセス方式	インフラストラクチャモード		
アンテナ	Dual Antenna Diversity × 2		
セキュリティ	SS ID、152/128 /64bit WEP (Wired Equivalent Privacy) AES - OCB 暗号		
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 95 %
入力電圧	DC +3. 3		
消費電流 (Typ at3.3V)	Tx : 280 mA、Rx : 214 mA		
外形寸法 (縦 × 横 × 厚さ)	114 × 54 × 5 mm		
質量	42 g		

*1 理論値、環境により変動

*2 IEEE 802.3af Auto-Negotiation 機能、Auto MDI-x 機能対応

*3 ただし、結露なきこと

*4 AC アダプタ使用時は、AC アダプタを含む

*5 縦置き時、突起部を除く

*6 本体のみ

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利 (プライバシー保護) に関する重要な事項です !)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す (情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す (なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する (改ざん)
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する (破壊)
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っています。また、弊社製無線 LAN アクセスポイントは出荷時にセキュリティに関する設定を行っておりますので、その問題が発生する可能性は高くありませんが、設定や運用方法によっては上記に示したような問題が発生する可能性があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨いたします。



古紙配合率100%再生紙を使用しています